

甲斐市立竜王北中学校 自己評価書

令和6年 1月23日 (火) 作成

校長 「 依田 宏記 」

記述者 職名(教頭)「 内田 勝久 」

学校教育目標 「豊かな心を持ち 自ら学び たくましく生きる生徒の育成」

学校経営方針

- (1) 豊かな人間性の育成
- (2) 確かな学力を育む指導と評価
- (3) 体力向上と健康安全意識の向上
- (4) 愛情と信頼に基づく生徒指導の充実
- (5) 安全安心を基盤とし、家庭や地域に開かれた信頼される学校づくり

1 全体評価

・肯定的な回答が、36項目中30項目で85%以上であり、教職員が高い意識で教育活動に取り組んでいることが見てとれる。

＜本校のオリジナル項目＞

- I⑤「学校は多忙化解消に努めている」(80.8%)
- III⑦「習得した知識・技能を活用する授業づくり」(95.5%)
- IV⑥「道徳教育を通した豊かな心の育成」(90.0%)
- VI①「あいさつ活動に積極的に取り組む指導」(100.0%)
 - ②「積極的に行事に取り組む指導」(100.0%)
 - ③「積極的に読書に取り組む指導」(92.3%)
- VII①「朝読書を通した国語力の向上」(100.0%)
 - ②「ICT等を活用した表現力の向上」(100.0%)
 - ③「部活動や体育の授業を通した持久力の向上」(100.0%)

＜肯定的回答率85%を下回る項目＞ ※現状の課題となるもの

- I⑤「学校は多忙化解消に努めている」(80.8%)
- II⑤「校内研究に主体的に関わっている」(84.0%)
- III④「ICTを効果的に活用した授業」(81.0%)
 - ⑥「宿題や家庭学習に対する指導」(81.0%)
- V①「地域人材や施設を活用した教育活動」(69.5%)
 - ④「PTA活動への積極的参加」(78.3%)

2 項目ごとの評価結果（達成状況・改善策）

I 学校教育目標に関して・学校経営について

- | | |
|------|---|
| 達成状況 | ・5項目中4項目で肯定的な回答が85%以上である。 |
| | ・「学校は多忙化解消に努めている」については、肯定的な回答の割合が比較的低かった。 |
| | (課題・意見) |
| | ①「学校経営方針や学校教育目標に基づいた教育活動を行っている」について |
| | ・あまり学校経営方針を把握していない。 |
| | ③「学校の教育活動計画に基づき、教育活動を行っている」について |
| | ・教育活動計画をあまり把握していない。 |
| | ⑤「学校は多忙化解消に努めている」について |
| | ・学級通信の原則廃止や時間外の電話対応をやめる必要がある。 |
| | ・教師側の意識改革も必要。 |

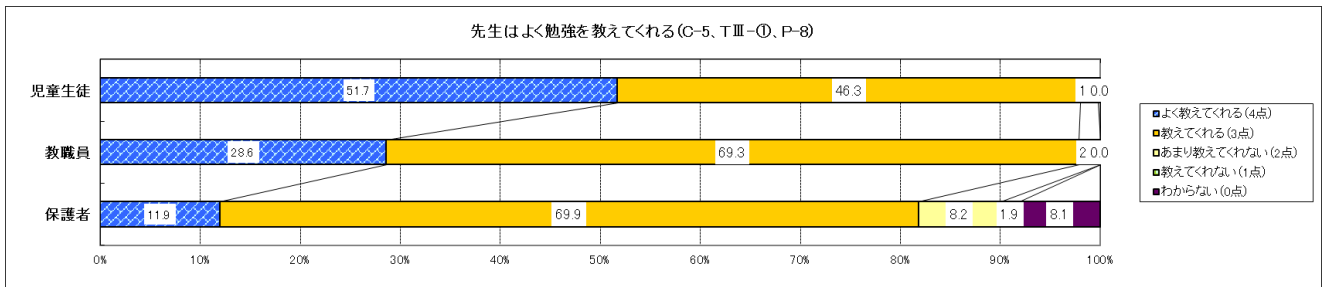
改善策	・年度当初の職員会議において、教育活動計画を周知徹底し、学期ごとに再確認をする。 ・「校内企画委員会」で、職員の多忙化解消や業務改善について話し合う機会をもつ。 ・職員が、翌月の行事予定表に、早く退勤できる日を記入することで、見通しをもった勤務を心がけるよう進めていく。 ・部活動については、教育委員会と共に地域移行を推し進めていく。 ・提案を効率化し、会議等の効率化を図る。連絡事項については校務支援システムを活用する。 ・行事が終わるごとに振り返りをし、PDCAサイクルを確立する。3年間を見通した計画を立て、各行事のねらいを精選し、内容のスリム化、業務の効率化を図る。 ・教職員の意識改革を喚起していく。教職員が余暇などを利用して様々な体験をし、家庭生活を豊かにすることで、それが生徒へと還元されることを考えていく。																																																																																																												
Ⅱ 学校運営について（保護者用アンケート等も含めて）																																																																																																													
達成状況	・7項目中6項目で肯定的な回答が85%以上である。 ・②「個人情報の保護」③「教職員の連携・協働体制」④報告・連絡・相談・確認については、肯定的な回答が100%であった。 （課題・意見） ①「危機管理マニュアルを理解している」について ・適宜確認が必要であった。 ⑤「校内研究への主体的な関わり」 ・非常勤のため、関わる機会がない。2人																																																																																																												
改善策	・今年度の校内研究は、「ICTの効果的活用の研究～個別最適な学びと協働的な学びの充実に向けて」をテーマにICTの活用に取り組んできた。その研究を、非常勤講師も含め全体で共有していく。 ・多忙化解消の業務改善に関しては、教職員の意識が高まってきたので、さらに保護者や地域の理解も得られるような教育活動を行っていく必要がある。																																																																																																												
Ⅲ 学習指導について（児童生徒用及び保護者用アンケート等も含めて）																																																																																																													
達成状況	・7項目中5項目で肯定的な回答が85%以上である。 ・「ICTを効果的に活用した授業」「宿題や家庭学習に対する指導」において、肯定的な回答の割合が81%であった。 【授業について】 ・「個に配慮した授業」（肯定的な回答）95.5% <table><tr><th>番号</th><th>質問内容</th><th></th><th>A率</th><th>B率</th><th>C率</th><th>D率</th><th>A+B</th></tr><tr><td rowspan="3">2</td><td rowspan="3">あなたは、個に配慮した授業を行っている。</td><td>本校</td><td>36.4</td><td>59.1</td><td>4.5</td><td>0.0</td><td>95.5</td></tr><tr><td>市</td><td>31.4</td><td>64.2</td><td>4.4</td><td>0.0</td><td>95.6</td></tr><tr><td>R4本校</td><td>22.7</td><td>72.7</td><td>4.5</td><td>0.0</td><td>95.4</td></tr></table> （生徒アンケートから） ・「学校の授業は楽しいか」（肯定的な回答）86.6% <table><tr><th>番号</th><th>質問内容</th><th></th><th>A率</th><th>B率</th><th>C率</th><th>D率</th><th>A+B</th></tr><tr><td rowspan="5">4</td><td rowspan="5">学校の授業は楽しいですか。 A とても楽しい B 楽しい C あまり楽しくない D 楽しくない</td><td>本校</td><td>25.6</td><td>56.7</td><td>11.9</td><td>3.6</td><td>82.3</td></tr><tr><td>1年</td><td>18.9</td><td>63.2</td><td>13.7</td><td>4.2</td><td>82.1</td></tr><tr><td>2年</td><td>28.4</td><td>52.7</td><td>14.9</td><td>4.1</td><td>81.1</td></tr><tr><td>3年</td><td>31.0</td><td>53.6</td><td>11.9</td><td>3.6</td><td>84.6</td></tr><tr><td>市</td><td>21.0</td><td>56.9</td><td>17.8</td><td>4.3</td><td>77.9</td></tr></table> ・「先生はよく勉強を教えてくださいか」（肯定的な回答）98.9% <table><tr><th>番号</th><th>質問内容</th><th></th><th>A率</th><th>B率</th><th>C率</th><th>D率</th><th>A+B</th></tr><tr><td rowspan="5">5</td><td rowspan="5">先生はよく勉強を教えてくださいか。 A よく教えてくれる B 教えてくれる C あまり教えてくれない D 教えてくれない</td><td>本校</td><td>59.2</td><td>39.6</td><td>1.2</td><td>0.0</td><td>98.9</td></tr><tr><td>1年</td><td>52.6</td><td>47.4</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>100.0</td></tr><tr><td>2年</td><td>71.6</td><td>27.0</td><td>1.4</td><td>0.0</td><td>98.6</td></tr><tr><td>3年</td><td>56.5</td><td>41.2</td><td>2.4</td><td>0.0</td><td>97.6</td></tr><tr><td>市</td><td>51.7</td><td>46.3</td><td>1.8</td><td>0.2</td><td>98.0</td></tr></table>	番号	質問内容		A率	B率	C率	D率	A+B	2	あなたは、個に配慮した授業を行っている。	本校	36.4	59.1	4.5	0.0	95.5	市	31.4	64.2	4.4	0.0	95.6	R4本校	22.7	72.7	4.5	0.0	95.4	番号	質問内容		A率	B率	C率	D率	A+B	4	学校の授業は楽しいですか。 A とても楽しい B 楽しい C あまり楽しくない D 楽しくない	本校	25.6	56.7	11.9	3.6	82.3	1年	18.9	63.2	13.7	4.2	82.1	2年	28.4	52.7	14.9	4.1	81.1	3年	31.0	53.6	11.9	3.6	84.6	市	21.0	56.9	17.8	4.3	77.9	番号	質問内容		A率	B率	C率	D率	A+B	5	先生はよく勉強を教えてくださいか。 A よく教えてくれる B 教えてくれる C あまり教えてくれない D 教えてくれない	本校	59.2	39.6	1.2	0.0	98.9	1年	52.6	47.4	0.0	0.0	100.0	2年	71.6	27.0	1.4	0.0	98.6	3年	56.5	41.2	2.4	0.0	97.6	市	51.7	46.3	1.8	0.2	98.0
	番号	質問内容		A率	B率	C率	D率	A+B																																																																																																					
	2	あなたは、個に配慮した授業を行っている。	本校	36.4	59.1	4.5	0.0	95.5																																																																																																					
			市	31.4	64.2	4.4	0.0	95.6																																																																																																					
			R4本校	22.7	72.7	4.5	0.0	95.4																																																																																																					
	番号	質問内容		A率	B率	C率	D率	A+B																																																																																																					
	4	学校の授業は楽しいですか。 A とても楽しい B 楽しい C あまり楽しくない D 楽しくない	本校	25.6	56.7	11.9	3.6	82.3																																																																																																					
			1年	18.9	63.2	13.7	4.2	82.1																																																																																																					
			2年	28.4	52.7	14.9	4.1	81.1																																																																																																					
			3年	31.0	53.6	11.9	3.6	84.6																																																																																																					
市			21.0	56.9	17.8	4.3	77.9																																																																																																						
番号	質問内容		A率	B率	C率	D率	A+B																																																																																																						
5	先生はよく勉強を教えてくださいか。 A よく教えてくれる B 教えてくれる C あまり教えてくれない D 教えてくれない	本校	59.2	39.6	1.2	0.0	98.9																																																																																																						
		1年	52.6	47.4	0.0	0.0	100.0																																																																																																						
		2年	71.6	27.0	1.4	0.0	98.6																																																																																																						
		3年	56.5	41.2	2.4	0.0	97.6																																																																																																						
		市	51.7	46.3	1.8	0.2	98.0																																																																																																						

(保護者アンケートから)

- ・「学校は熱心に授業に取り組んでいるか」(肯定的な回答) 84.7%

番号	質問内容		A率	B率	C率	D率	E率	A+B
8	学校は熱心に授業に取り組んでいると思う。 A とても思う B 思う C あまり思わない D 思わない E わからない	全校	12.8	71.9	9.5	0.8	5.0	84.7
		1年	11.8	73.1	9.7	0.0	5.4	84.9
		2年	10.1	71.0	13.0	1.4	4.3	81.1
		3年	16.3	71.3	6.3	1.3	5.0	87.6
		市	11.9	69.9	8.2	1.9	8.1	81.8

<生徒・教職員・保護者との関関>



(教職員アンケートから)

- ・「ICT を効果的に活用した授業を行っている」(肯定的な回答) 81.0%

番号	質問内容		A率	B率	C率	D率	A+B
4	あなたは、ICT を効果的に活用した授業を行っている。	本校	28.6	52.4	19.0	0.0	81.0
		市	24.6	53.0	20.1	2.2	77.6
		R4 本校	9.1	59.1	31.8	0.0	68.2

(生徒アンケートから)

- ・「人前でしっかりと自分の意見を言うことができるか」(肯定的な回答) 75.5%

番号	質問内容		A率	B率	C率	D率	A+B
9	人前でしっかりと自分の意見を言うことができますか。 A よくする B する C あまりしない D しない	本校	28.0	47.5	21.0	3.5	75.5
		1年	17.3	56.1	21.4	5.1	73.4
		2年	38.4	35.6	23.3	2.7	74.0
		3年	31.8	47.1	18.8	2.4	78.9
		市	22.4	45.9	27.3	4.5	68.3

(課題・意見)

- ②「個に配慮した基礎基本の定着を図る授業」について
 - ・限界があります。
- ④「ICT を効果的に活用した授業」について
 - ・小学校との連携が不可欠。
 - ・教科としての有効な活用法を知りたい。

改善策

- ・校内研で「ICT の効果的な活用の研究」を進める中で、使い方についてもその幅が広がってきている。今後さらに、研修や職員間での授業観察やの情報交換のみならず、小学校での利用状況を確認していくことで生徒の活用能力を向上させていく。また、「個に配慮した基礎基本の定着を図る授業」についても、ICT を効果的に活用する方法も模索し、持ち帰りも含め課程での学習の指導を進めたい。
- ・授業がわかる、面白い、役立つ、感動する、こうした経験で生徒は歩みを進めることができる。この基本的なことを念頭に、実践を積んでいきたい。

Ⅳ 生徒指導について（児童生徒用及び保護者用アンケート等も含めて）

- ・全6項目で肯定的な回答が85%以上である。
- ・「キャリア教育(キャリアパスポートの活用・進路指導など)」「道德教育を通して生徒の豊かな心の育成」において、肯定的な回答の割合が比較的低くなっている。

【問題行動（いじめ、不登校等）の早期発見・早期対応について】

（教職員アンケートから）

- ・「問題行動の早期発見・早期対応ができています」（肯定的な回答）95.5%

番号	質問内容		A率	B率	C率	D率	A+B
5	あなたは、問題行動（いじめ、不登校等）の早期発見・早期対応ができています。	本校	50.0	45.5	4.5	0.0	95.5
		市	37.8	57.4	4.7	0.0	95.2
		R4 本校	9.1	86.4	4.5	0.0	95.5

（生徒アンケートから）

- ・「学校は楽しいか」（肯定的な回答率）91.1%

番号	質問内容		A率	B率	C率	D率	A+B
1	学校は楽しいですか。 A とても楽しい B 楽しい C あまり楽しくない D 楽しくない	全校	47.3	43.8	7.8	1.2	91.1
		1年	36.7	53.1	7.1	3.1	89.8
		2年	54.1	39.2	6.8	0.0	93.3
		3年	54.1	36.5	9.4	0.0	90.6
		市	42.0	46.6	8.4	3.0	88.6

【相談できる友達・先生について】

- ・「いろいろなことを相談できる友達はいるか」「いない」1.2% 3人

番号	質問内容		A率	B率	C率	D率	A+B
2	いろいろなことを相談できる友達はいますか。 A たくさんいる B いる C あまりいない D いない	全校	46.5	47.3	5.0	1.2	93.8
		1年	38.8	56.1	5.1	0.0	94.9
		2年	56.8	36.5	5.4	1.4	93.3
		3年	47.1	45.9	4.7	2.4	93.0
		市	36.7	52.0	9.6	1.7	88.7

※この回答から、多くの生徒は困ったことがあったら相談できる友だちがいることがわかる。しかし、全校で3人の生徒が「いない」と答えている。

- ・「困ったことがあったら相談できる先生はいるか」「いない」2.0% 5人

番号	質問内容		A率	B率	C率	D率	A+B
11	困ったことがあったら相談できる先生はいますか。 A いる C あまりいない D いない	全校	76.4		21.7	2.0	
		1年	77.3		19.6	3.1	
		2年	79.5		19.2	1.4	
		3年	72.3		26.5	1.2	
		市	69.7		24.0	6.2	

※この回答から、多くの生徒は困ったことがあったら相談できる先生がいることがわかる。しかし、全校で5人の生徒が「いない」と答えている。

（保護者アンケートから）

- ・「お子さんには、相談できる友達がいるか」「いない」1.3% 3人

番号	質問内容		A率	B率	C率	D率	E率
3	お子さんには、困ったことがあった時に相談などのできる友達がいいますか。 A いる C あまりいない	全校	71.3		14.8	1.3	12.7
		1年	66.3		20.7	0.0	13.0
		2年	75.8		7.6	1.5	15.2

	D いない E わからない	3 年	73.4		13.9	2.5	10.1
		市	73.4		11.4	2.0	13.3

番号	質問内容		A率	B率	C率	D率	A+B
1	あなたは、教育活動の中に地域の人材や施設を活用し、地域の教育力を生かす指導を行っている。	本校	13.0	56.5	21.7	8.7	69.5
		市	14.1	57.0	22.1	6.7	71.1
		R4 本校	12.5	29.2	41.7	16.7	41.7
(課題・意見) ①「地域人材や施設を活用した教育活動」について ・職場体験の協力はありがたかった。 ・具体的な実践ができていないため。 ・自身の教材研究が足りない。 ④「PTA 活動への積極的参加」 ・P T A活動がそもそも少ない。							
改善策	・コロナ感染症を受け、P T Aバザーについては無期限中止となっており、強歩大会、PTA 除草作業は行わなくなった。そのため PTA 活動としては愛のパトロールと学校新聞だけとなっている。感染症が収束してきた現在、ただ単に元に戻すわけではなく、危機管理面を考え合わせてどのような形にしていくかを、考えていく必要がある。また、教育の場を学校内に閉ざさずに、保護者や地域の方との交流の機会や方策を模索していきたい。 ・「地域人材や施設を活用した教育活動」については、職場体験等の受入もしていただける施設が多くなってきたが、まだ制限があるところがあり老人ホームなどの施設訪問等、委員会活動を通しての教育活動ができない部分がある。色々な形で地域人材や施設活動を模索していかなければならない。 ・この学校評価は、保護者の学校に対する考えや評価を知る大切な機会である。それ故に、学校の果たすべき役割を改めて考える機会としたい。P T A学校委員会や学校関係者評価委員会等で出される意見をしっかり受け止め、学校に関係する様々な機関や地域の方々と、共に考え共に歩んでいきたい。 ・これからの学校には、学校・地域・保護者が一体となって子どもの成長を支えていく「地域とともにある学校」という視点が必要である。中学生のこの時期に、多くの大人との出会いの場を設け、多様な体験を通してさまざまな価値観と出会わせることが、豊かな心の育成につながる。また、特色ある学校づくりの観点からも、地域の資源（人・物・歴史や地理の特性など）を生かした「社会に開かれた教育課程」が求められている。こうした点を教職員全員が認識し、各教科や総合・特別活動の各分野で、積極的に地域人材や施設の活用を図っていきたい。						
Ⅵ 学校の特色に関して							
達成状況	・全3項目で肯定的な回答が85%以上である。 ・「あいさつ活動」「生徒が積極的に行事に取り組むよう指導している」については、100%の達成率である。						
改善策	・部活動を通してのあいさつの習慣化、生徒会活動を通してのあいさつや行事に取り組む姿勢などは、生徒を主体とした活動を教員がしっかりフォローしていくことにより充実感や達成感をえることになる。生徒一人一人が明日も学校に来たいと思えるような学校づくりに邁進していきたい。						
Ⅶ 創甲斐教育について							
達成状況	・全3項目で肯定的な回答が100%である。						
改善策	・この結果に満足するのではなく、質問内容にある「朝読書を通しての国語力の向上」「ICT等の活用を通しての表現力の向上」「体育の授業を通しての持久力の向上」は、これから、甲斐市を盛り立てていくとする子どもたちにとって、とても大切な要素である。常に自分を磨き、意欲あふれる子供たちを育てていきたいと考えている。						

3 まとめ

〈成 果〉

- ・教職員による自己評価では、教職員が高い目的意識を持って教育活動にあたっていることがわかった。
- ・生徒用アンケートでは、生徒の実態がわかり、改善の方向性や今後の教育活動、学校経営のあり方を考えていく機会となった。
- ・保護者用アンケートでは、本校の教育活動や学校運営についての保護者のとらえ方や見方を把握することができ、子どもを育てる点で同じ立場として、保護者と協働して、教育活動を展開していく上で有意義であった。
- ・コロナ感染症も5類移行となり、行事の多くが本来に近い形で実施することができた。コロナ前に戻るのではなく、内容の精選や生徒に付けさせたい力の焦点化、教師の業務改善なども含めて話し合いができたことは大きな一歩である。また、生徒の日々の前向きな生活態度が全ての実績の源となっている。
- ・ICT活用については校内研で研究主題として取り上げることで研修を積み、実践事例やお互いの授業を見るなどして自己研鑽し、昨年度より活用に対する意識が高まった。

〈課 題〉

- ・不登校が課題となっている本校において、生徒に寄り添うことと社会を生き抜く力を培うこと、その両面を考えつつ、教育活動を実践していきたい。
- ・PTA 活動
- ・創甲斐教育について「国語力の向上」「表現力の向上」「体力の向上」という大切な項目がある。その基本理念である「甲斐市で育ち、甲斐市を育てる人づくり」を常に念頭におき、そこにつなげられるよう甲斐市の誇りを意識した企画や活動を心がけていきたい。そのためにも、市や地域の事業所と連携し、地域に育って地域を知り、進んで地域を盛り上げていくという好循環をつくっていきたい。
- ・今回の結果をこの1年間の本校の教育活動の結果であると捉え、教職員で共有し、次年度に確実ににつなげていく。